

活動テーマ

身近な自然。自分たちでできること。

実践事例について

本校は、大津市北部葛川地区に立地し、豊かな自然を生かした学習を進めている。地域の森林を学校林として活用したり、目下を流れる安曇川を生かした琵琶湖学習に取り組んだりするなど、子どもたちは身近な自然を題材に学習を進めた。また、地域のために小中合同で清掃にいく取組も毎年行い、よりよい環境を作るための活動を行っている。

1 学校紹介

本校は、安曇川上流部にある小中学校が併設されたへき地校である。平成30年度より、小規模特認校制度の認定を受け、地元だけでなく、大津市在住の児童生徒が通える学校となった。市街地から通う子どもたちは、堅田駅からスクールバスを利用して通学している。学校には、水田や畑があり、近くの森林の一部を学校林として活用し、子どもたちは自然を題材とした活動を行っている。また、過疎化が進み学校閉校の危機を救おうと始まったKCLプロジェクト(K: know 知ってもらう。C: come 来てもらう。L: live 住んでもらう)を軸に学年に応じた取組がなされている。

2 エコ・スクールの取組

(1) 学校林活動



校区にあるアシビ谷付近の森林を学校林として活用し始めて11年が経過した。学校林には、スギやヒノキ、ケヤキ、ヤマザクラなど植林させ、滋賀南部森林組合の協力の下、管理されている。子どもたちは年2回、小中学校全員で学校林に行き、下草刈りや枝打ち、冬支度など行っている。また、小学生は、学年に応じて学校林を生かした

学習を進めている。

特に、3・4年生は、やまのこ学習で森林の役割と川とのつながりについて学んだことから、木の間伐に興味をもった。全校の学校林活動とは別日に、森林組合の方の指導の下、間伐体験を行い、スギの木を1本倒した後、のこぎりで細かく切り分けた。皮をはいで学校に持ち帰り、加工することを楽しみに乾燥させている。並行してKCLプロジェクトとして木材加工について学び、木の名札を作成した。この経験を生かして、葛川・久多の良さをたくさんの人に知ってもらいたいと考えている。

(2) 校内田んぼ



本校には、小さな水田がある。そこを利用して毎年5年生が苗から栽培をしている。今年度は5年生がいないため、6年生が田植えから収穫までを担当した。昨年度設置した獣害除けの柵と、稲の成長期にまいた追肥の結果、9月にたくさんの米を収穫することができた。

12月には、その米を利用し、防災学習を行った。本校は、災害によりライフラインが不通になることがある。そのようなときでも、学校にある物で食料を確保し、生活できるように、全校で学

習した。カセットコンロを用いてお米を加熱し、おはぎを作り食事をした。ご飯はもち米を加え、ポリエチレンの袋に入れ温めて作った。おはぎのトッピングになる材料は、6年生が修学旅行の帰りに備蓄材料として事前に購入したものを使った。水などが確保できない状況でも食事ができることで子どもたちの防災意識も高まったと考える。

(3) 校内農園



本校には、二畝の畑がある。この畑は地域の老人会の協力の下管理されている。毎年、低学年はサツマイモを植え、その他の学年は、なすやキュウリ、トマト、ピーマンなど色々な作物を栽培している。

今年は日照不足もあり作物の成長も心配されたが、子どもたちは肥料をあげたり、下草を取り除いたりする作業をこまめに行い、たくさんの野菜を収穫することができた。また、サツマイモは秋に地域の老人会の方と一緒に収穫した。とれたサツマイモは、老人会の協力のもと、たき火をおこし、それを利用して焼き芋にして食した。全校で、秋の実りを感じることができたことで子どもたちも大変喜んでいた。

(4) 川の水調べ



3・4年生は、やまのこ学習事前授業で森林の土と砂場の土を使って色水の濾過実験を行った。水の透明度の違いを見て子どもたちはとても驚いていた。森林と川の関係について学ぶことができた。そのあと、安曇川で水生昆虫を探すと、とても

小さな生き物がたくさんいることが分かった。くわしく調べてみると、きれいな水が好きな生き物が多いことから、安曇川はきれいであることを知ることができた。

(5) 地域清掃



本校では、夏と秋の年2回小中学校全校で校区に出かけ、清掃活動を行っている。夏は、地域行事である太鼓回しの時期に合わせて、会場となる明王院や地主神社周辺を、秋は各地域の公民館周りや社寺周辺を行う。各地域に分担された子どもたちは、落ち葉や公民館内部の清掃活動に励んだ。この活動で、地域からも感謝の言葉をいただき、子どもたちも大変喜んでいる。学校の運営に多くの力添えをいただいている地域に恩返しができないかという気持ちと自分たちで地域の環境・美化を守っていこう姿勢が毎年現れ、子どもたちから「きれいになってよかった」という声もあがりうれしく思っている。

3 終わりに

本校は、葛川久多の自然を生かした数多くの取組が行える立地条件を生かして、年間を通してカリキュラム編成を行っている。今年度も、学校林活動を主として、各学年で栽培活動など取り組むことができた。子どもたちは、環境に目を向けることが日常であり、少人数の利を生かしてたくさんの体験活動を行うことができた。五感を使っの活動は、子どもたちに取って非常に有益であるとする。今後も、地域と共に、子どもたちが自らの手で自然環境を生かした学校を作っていってほしいと考えている。

学校名	大津市立葛川小学校
住所	大津市葛川中村町108-1
電話番号	077-599-2154
E-mail	Ktr-e@otsu.ed.jp